

<令和6年5月定例記者会見>

1 開催日時

令和6年5月8日（水）午前10時30分～午前11時

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、NHK盛岡放送局、河北新聞社、読売新聞社、岩手日報社、朝日新聞社

4 発表事項

(1)「チャグバス」の運行開始について（都市政策課）

市と県北バスは、平成29年9月に策定した滝沢市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通と観光事業の連携の取組として、路線バスとチャグチャグ馬コをタイアップした「チャグバス」を運行いたします。

「チャグバス」とは、チャグチャグ馬コ仕様に装飾した路線バスであります。

公共交通であるバスの利用促進と、本市の主要観光資源であるチャグチャグ馬コのPRのため、市とバス事業者が協力し、平成30年度からチャグチャグ馬コの開催時期に合わせて運行しております。

今年度は、5月10日から6月8日のチャグチャグ馬コ当日まで路線バスとして本市近郊の路線で運行いたします。

なお、「チャグバス」の装飾作業は、運行事業者である県北バスのバス路線エリア内にある市内の菓子保育園の園児の皆さんに協力をいただき、菓子駅にて明日5月9日（木）午前10時45分から行うこととしております。

是非、園児の皆さんによって色鮮やかに装飾された「チャグバス」に多くの方にご乗車のうえ、ご覧いただきますようお願い申し上げます。また、6月8日のチャグチャグ馬コ当日には、壮大な馬コの行進をご覧いただきますよう併せてお願い申し上げます。

(2)「ユイスケ」を中学生に教えてもらおう！（農林課）

滝沢市では、令和4年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した「スマート農業からキックしくみづくり事業」を実施し、滝沢市スマート農業コンソーシアムにより農作業受託管理システム「ユイスケ」が構築されました。

当システムは、田植や稲刈などの農作業を頼みたい農家が、スマホやPCを使用してシステムから作業を受託する法人へ依頼するものです。農作業の依頼手続きが省力化・効率化されますが、スマホやPCの操作に不慣れな高齢者にとってはハードルが高いことが課題となっています。

こうした課題を解決するため、孫世代の中学生が地域内のICTを活用したスマート農業「農作業受託管理システム『ユイスケ』」の学習をおし、地域課題への理解を深め、中学生が課題解決に向けての取組を主体的に実施するものです。

今年度は、一本木中学校2年生21名が取組を実施します。実施時期は令和6年6月から8月までの間で、「課題の設定」と「整理・分析」を行い、市から「スマート農業サポーター」の証明を受けた後、「まとめ・表現」として最終的に農業者にシステムの操

作説明補助をします。

4回に渡ってステップを踏みながら生徒が理解を深め成長していく様子について、継続的な取材をよろしくお願いいたします。

本事業の日程等詳細は別紙「ユイスケ」を中学生に教えてもらおう！日程表になります。

(3) 日本酒「鞍掛山」の新酒発売について（観光物産課）

株式会社南部美人様に製造販売いただき、ご好評をいただいております日本酒「鞍(くら)掛山(かけやま)」の新酒が発売中でございます。

市内農業者が丹精込めて作った滝沢市産の酒造(しゅぞう)好適(こうてき)米(まい)「ぎんおとめ」で醸造し、さらりとした飲み口で深い味わいが特徴のお酒です。料理と一緒に、また、純米吟醸酒なので冷(ひ)やで飲んでいただくのがお勧めです。

今年も市内スーパーなどを中心に数量限定販売となりますので、是非皆さんお早めにお買い求めください。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：ユイスケについて、教える側として中学生を選んだのはなぜですか。

市長：これまでも県立大学や盛岡大学の学生の皆さんにスマートフォンの講習会を開いてもらったりしてきた中で、孫世代に教わることで、聞きやすく、指導を受けていて楽しいという評価をいただいています。また、中学生の皆さんには自分が住んでいる地域の課題や現状、農業に興味を持ってもらいながら、ユイスケを農業者の皆様に詳しく説明することをお願いしたいと思っています。農家の皆さんも、中学生の皆さんには様々なことを聞きやすいと思いますし、スマートフォンの操作を熟知していただければいいなと思います。

経済産業部長：農業はなかなか変化を受け入れにくいというか、そういった土壌があります。それを今回中学生という孫世代と一緒に操作することで、受け入れられるものにしていくというところが大きな目的になっています。そういったところから少しずつ農業のIT化というのも無理なく進めていくことができるようになれば、というねらいです。

記者：鞍掛山は発売して何年目になりますか。

観光物産課長：最初の発売は平成29年になります。

記者：ユイスケについては、これを中学生が学ぶことで、自分の周りのお年寄りやご家族などに広め、ユイスケをたくさんの人に使ってもらいたいというのが最終目的ですか。

観光物産課長：案件要旨でもユイスケが初めに出てきているので、そう見えてしまうとは思いますが、はじめのねらいとしては中学生に地域の農業の課題を把握してもらい、高齢化であったり、人手不足などの現状を知ってもらうことが目的の一つです。そのうえで、今回ユイスケを中学生から農家さんに教えていき、身近な地域で必要なところにはITの導入を図っていきたいと考えています。将来的にはどんどんと利用者を広げていきたいという思いはあります。

記者：中学校の総合学習の授業の一環で実施するものですか。

経済産業部長：その通りです。

市長：地域の農業について、「農作業」といっても様々（種まき、耕起、代掻き、田植え、除草剤の散布、草刈り、稲刈り、籾摺り、出荷調整など）な段階を経てひとつの米ができていくということを、中学生の皆さんに学んでいただきたいです。米以外の作業についても、様々興味を持ってもらえる機会にできたらと思います。パソコンやスマートフォンの操作を通じて、地域の課題などの現状が見えてくると思うので、それをふるさとの一つの課題として、中学生にも知っていただければと思います。

記者：鞍掛山について純米吟醸酒が新しく発売されるということですか。

市長：純米吟醸酒は毎年販売（今年で8回目）しています。今年の新酒が発売されたという意味になります。

記者：市内のスーパーを中心に販売ということですが、ビッググループでも販売はありますか。

市長：販売しています。

記者：数量限定とありますが、だいたい何本くらいでしょうか。

観光物産課長：400本です。

記者：四合瓶のみの販売でしょうか

観光物産課長：四号瓶のみです。一升瓶の販売はありません。

記者：基本的には盛岡市では売っていないということでしょうか。

観光物産課長：クロステラスなど、盛岡市の一部では販売されています。

記者：ユイスケは法人に作業を依頼するシステムということで、法人はJAから受託しているということですか。仕組みを教えてください。

農林課担当者：法人は令和4年度に新たに設立された（一社）うかい結ファームと（一社）アグリサポートおおさ輪、元々あった（株）スタディアの3者で事業を実施しています。それぞれの法人は地域の農地の所有者や耕作者で構成されており、およそ100名の構成員がいます。農作業の受託や農作物の販売などを行っています。農協が設立や運営などに携わっているものではありません。

記者：ユイスケに入力するとシステムから依頼が飛んで、法人の方が代わりに作業してくれる、というイメージでよいですか。

農林課担当者：そうです。システムの中ではそれぞれの農家さんが持っている圃場が図面で確認できるようになっており、それを見ながらどこの圃場をいつ頼みたい、という形で依頼ができるような仕組みです。

記者：依頼の費用は農家で負担して法人に払う形でしょうか。

農林課担当者：そうです。受託後の作業料については、システムを通して請求が行く形になります。

記者：現在でもかなり使われているのでしょうか。

農林課担当者：操作というか、システムを使いこなせないという部分でなかなか難しい現状です。

経済産業部長：これまでもこういった作業の受託はやっていて、これまで電話や直接対面での依頼などでやっていましたが、これから先の農業を考えたときに、今のうちからこういったシステムを導入して、どうにかIT化を進めていきたいという思いです。しかしながら、導入に関してはどうしてもシステムというものに対する壁があり、今回

中学生と一緒に学ぶことでその壁を取り払っていくことが目的です。

記者：3者は基本的に滝沢市の農作業を受託しているという理解でよいですか。

経済産業部長：基本的にそうです。

記者：ユイスケの操作自体は難しいものではないですか。

経済産業部長：そんなに難しいものではないです。システムを作る際も、壁が生まれないように想定して作っているので、できるだけ分かりやすくしていますが、これまでは電話で済んでいたのだから電話でいだろうという話になってしまいます。これから先、若い人たちが農業に入ってもらえるように、地域での連携を高めるためにも必要なシステムだと考えていますので、壁を取り払っていければなと思います。

6 その他記者からの当日質問

記者：ビッグルーフ周辺の新たな商業施設にかかる計画について、昨年案が発表されたと思いますが、その進捗と市に期待される経済効果などについて教えてください。

市長：中心拠点開発として、民間の事業者が中心となってやっています。現状としてはしっかりと発表できる契約段階までは至っていないということで、市でも待っている状況です。その中で、以前発表した通りではありますが、医療エリアや地元の商工会の皆さんが出店するエリア、様々な飲食店やスーパーなどが出店するエリアなどが完成する予定で、現在はそれに向けて事業者の選定を進めているところです。開発事業者から情報を受けながら、決まった部分があれば順次発表していきたいと思っています。これまでビッグルーフにも多くの皆さんに訪れていただいています。これまで滝沢市にはなかなか無かった中心市街地、あるいは中心拠点といった課題を、この開発によって少しでも前に進めていきたいと思っています。水路の付け替えなど造成工事はかなり進んでおります。